

令和3年6月3日

区郡市空手道連盟 各位

一般社団法人東京都空手道連盟
会 長 笹川 堯
専務理事 坂梨孝美
(公印省略)

コンゴ民主共和国への空手道着寄付のお願い

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本連盟に対し多大なるご理解、ご協力をいただきまして感謝申し上げます。

さて、この度本連盟に対し学生団体 uber smile (代表: 國學院久我山高校3年生・関志翔) より、「コンゴ民主共和国の女性や子供たちに空手道着を寄付してほしい」との依頼がありました。

現在、コンゴ民主共和国では、紛争が続いており、特に南部と東部地区の女性や子供が武装勢力の兵士から非人道的な虐待を受け、肉体的・精神的ダメージによる心的障害を発症する事例が多発しているそうです。

そのような中で、同国のパンジ病院ではその治療の一環として、空手道を教える取り組みが行われています。空手道を指導するのは1998年と2006年のWKF世界選手権大会女子組手+60kgと2000年の組手団体戦で優勝したフランスの名選手ロランス・フィッシャーさんです。彼女の指導のもと、大きな声を出し、体を動かすことで心的障害に苦しむ患者の自発的治癒力を強化する取り組みが続けられています。

しかしながら、治療を受ける女性や子供たちは紛争で親を失ったり、親に捨てられたりなどで貧困にあえいでおり、空手着を買う余裕などありません。その一方で、長引く紛争で心的障害の治療が必要な患者は増え続けています。

こうしたことから、主にアフリカ各国への支援活動をしている前述の学生団体 Uber smile が空手道着の寄付を企画し、本連盟に協力を依頼してまいりました。

本連盟といたしましても「空手道発祥の地である日本で空手道を学んでいる我々にも、何か協力できることがあるのではないかと考え、この依頼を受けることといたしました。

つきましては、区郡市連盟の皆様にもこの活動の趣旨をご理解いただき、ぜひとも所属団体各位への空手道着寄付のお願いをしていただければ幸いです。

なお、この活動には特定非営利活動法人 RITA-Congo が協力しており、年に数回のコンゴ民主共和国への支援物資輸送の際に寄付された道着を送ることになっています。

詳細は別紙要領をご覧ください、一着でも多くの道着をご寄付いただきますようお願い申し上げます。

謹白